

---

# 神と異世界

キトピ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神と異世界

### 【Nコード】

N2644Z

### 【作者名】

キトピ

### 【あらすじ】

『神様って本当にいるの？』

神の手違いで命を落とし、神の手によって転生。  
普通の高校生だった伊坂<sup>イサカ</sup> 葉<sup>ヨウ</sup>は神と共に長い永い？異世界旅行へ旅立つ。

チート仕様な王道モノではありません。

## 人生の終わりは突然に

『ねえ、神様っているの?』

そう母に訊いたのは十年も前。俺も今では立派な高校生だ。

世の中そんなに上手くは廻ってないって理解し始めて、理不尽なことにも慣れて、精神的には大人になったつもり……。都合の良い正義や、意味のない偽悪の区別だってつく。

聖なる夜にサンタを夢見る、可愛い子供時代はとっくに終わったんだ。

サンタクロース?

神? 天使?

それとも悪魔?

どれも同じだ。人間が造り出した偶像に過ぎない。

本当に神がいるなら、この世をもっと平和にしてくれよ。全知全能ならそれくらい出来るだろ?

ずっとそんな風に思ってきた。

……だってそうだろ?この目で見てもないのに信じられる訳がない。

俺はそういう人間だ。

ツチノコしかり、雪男しかり。神様の存在なんて、いるかないか微妙で、曖昧で、あまりにも不完全で……。

幻同然の未確認生物と同じじゃねーか。

そう、思ってたんだ。

死ぬまでは。

「おい、人間。聞いているのか？」

低音だが耳に心地良い女声。

口調は乱暴で、少々投げやりだ。

意識が無理やり現実に戻される。

これが現実なのか、まだ信じ

きれてはいないが……。

「私を無視するとは、なかなか肝がすわってるじゃないか」

無視した訳じゃない。聞こえなかった訳でもない。

思わず現実逃避したくなるような言葉を聞いてしまった。

俺は目の前に立つ女、正確には、まだあどけなさの残る少女を、睨み付ける。

見た目は俺と同じか、年下くらい。  
薄い金色の髪は首の辺りまで伸び、フワフワとウェーブがかかって揺れている。

コイツは確かに言った。

小さな唇を震わせて、確かに……言った。

『私は神。お前は死んだ』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2644z/>

---

神と異世界

2011年12月9日13時50分発行